

令和元年度 第1回通常会員総会を開催 令和元年7月23日(火)

～ 平成30年度事業報告・収支決算を承認 ～

「外国人労働者と多文化共生社会の実現」をテーマに
名古屋出入国在留管理局 局長 藤原 浩昭 氏
NPO 法人 愛伝舎 理事長 坂本 久海子 氏が講演

於：都ホテル四日市

三重県商工会議所連合会（会長：岡本 直之）は、令和元年7月23日（火）都ホテル四日市にて、「令和元年度第1回通常会員総会」を開催し、県内12商工会議所の会頭・専務理事等出席のもと、平成30年度事業報告および収支決算について審議し、満場一致で原案どおり承認されました。

総会終了後の講演会・懇談会には、県内の会頭・副会頭・専務理事が総勢59名参加しました。



▲ 総会の様子、挨拶をする岡本会長（右上）

講演会では「外国人労働者と多文化共生社会の実現」をテーマに、名古屋出入国在留管理局 局長 藤原 浩昭 氏より『出入国在留管理行政の現状と今後の展望』、及びNPO法人愛伝舎 理事長 坂本 久海子 氏より『これからの多文化共生社会～選ばれる三重県に～』を演題として講話を拝聴しました。

藤原氏は、新たな外国人材の受入れ制度や共生のための対応策等について説明され、「少子高齢化にともなう労働力不足を外国人だけで賄うのは無理であり、女性や高齢者の活用など日本的な良さを残しながら、外国人の特性を生かす取り組みが必要」と話されました。また、坂本氏は、「外国人観光客への『おもてなし』を在留者にも向けるべきであり、日本の生活ルール・習慣の周知、社会見学や文化体験を経て彼らは日本の発信者となり、日本への愛着が定住化につながる。外国人との共生が企業との連携の中で実現可能となる」と話されました。



▲ 講演をする藤原浩昭局長



▲ 講演をする坂本久海子理事長

その後、引き続き開催された懇談会には藤原講師・坂本講師にも参加いただき、終始和やかな雰囲気の中、盛会理に終了しました。